

事業番号	374
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	地域3あい事業						担当部	教育委員会事務局							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	生涯学習課							
	事業期間	平成17年度			～	平成30年度以降		担当係	社会教育係							
	総合計画 分野別計画	主目的	4 文化・スポーツ		16 生涯学習		2 学習活動を支援します									
		副目的	10-2		13-2		30-2									
	予算区分	款	10		項	5		目	2		大	4		中	1	
	根拠法令・個別計画	生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画、小牧市社会教育関係団体補助金等交付要綱、地域3あい事業費補助金交付要綱														
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	地区の集会所を拠点とし学習活動に参加できるよう、地域の人々が幼児から高齢者まで、自主的に講座や事業を実施できるよう支援し、より多くの地域の人々の参加を図り、「ふれあい・学びあい・支えあい」の地域づくりを目指す。														
	内容 (手段)	<p>■25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施地区に対し、年間事業実施数により20万円もしくは10万円を上限として補助を行う。(10万円は H22年度から新たな取り組み) ・事業内容は、各地区で自主的に計画する。 ・年間事業実施数は、区民全員を対象とした事業を10回以上もしくは5回以上とし、そのうち子どもを含む事業を5回以上もしくは2回以上実施する。 ・職員は、補助金の申請書・実績報告書等提出書類の指導事務、効果的な事業を進めるための相談 事務、関係機関(出前講座や市民講師)との調整等事務を行っている。 <p>■25年度直接経費の内訳</p> <p>消耗品等(9,734円) 事業費補助金(12,300,000円)</p> <p>■26年度実施内容</p> <p>25年度と同様に実施する。 消耗品等(10,000円) 事業費補助金(12,800,000円)</p>														
	受益者負担	無														

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	13,606	12,673	12,309	12,810	
		正職員	従事者数	人	0.05	0.05	0.05	0.05
			人件費	千円	263	263	263	263
		その他職員	従事者数	人	0.02	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	45	0	0	0
	費用合計	千円	13,914	12,936	12,572	13,073		
対前年比	%		92.9	97.1	103.9			
財源	一般財源	千円	7,109	12,936	12,572	13,073		
	国・県支出金	千円	6,805	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	実施地区数	区	目標	75	77	77
実績				75	72	72	
	事業数	事業	目標	750	770	880	800
			実績	872	877	775	
	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	区実施率	%	目標	58	60	60	60
			実績	58	55	55	
	延参加者数	人	目標	—	—	—	—
			実績	92,293	78,791	84,790	

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	地域の幼児から高齢者までが、学びあいやふれあい活動を通じて、地域ぐるみで子育てにかかわり、お年寄りを支える「ふれあい・学びあい・支えあい」の地域づくりを目指し、地域の人々が自主的に講座や事業を実施できるように支援し、多くの人の参加を得ることができた。実施地区数の減少は、担い手不足など地域の事情によるものと思われる。				
		事業実施における課題	地域3あい事業の活動を担う人材の確保が困難な地区がある。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	地域の人々が自主的に講座や事業を実施する機会が失われ、地域でのつながりが、希薄になり、地域で支えあう機能が低下する。				
		平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	引き続き事業内容を紹介する3あいレポートを発行する。また、事業説明会の後に意見交換会を行う。			
		平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)		
		判定理由	地域で支えあえる地域づくりを進めていくためには、地域の人々が自主的に講座や事業を実施することは重要で、事業が実施できるように支援していく必要がある。				
		27年度以降の改善案	地域3あい事業として適切な事業が実施されるように指導、助言を行うとともに、事業に携わる関係者の情報交換の機会を設け、よりよい事業の運営を支援します。				

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。